

平成31年4月30日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 豆田 正 明



平成30年度 赤穂市立海洋科学館の事業報告について

赤穂市立海洋科学館指定管理者管理運営基準に基づき、平成30年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



海洋科学館（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

開館日数 306日

常 設 展				特 別 展			合 計	
区 分	入館料 (円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料 (円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)
個 人	大 人 200	9,543	1,908,600	大 人 300	1,741	522,300	11,284	2,430,900
	小中学生 100	2,236	223,600	小中学生 150	799	119,850	3,035	343,450
団 体 30人以上	大 人 160	5,028	804,480	大 人 240	868	208,320	5,896	1,012,800
	小中学生 80	1,474	117,920	小中学生 120	481	57,720	1,955	175,640
団 体 100人以上	大 人 120	252	30,240	大 人 180			252	30,240
	小中学生 60	428	25,680	小中学生 90			428	25,680
減 価 個 人 50%	大 人 100	471	47,100	大 人 150	72	10,800	543	57,900
	小中学生 50	90	4,500	小中学生 75	20	1,500	110	6,000
免 税 団 体 30人以上 50%	大 人 80			大 人 120				
	小中学生 40	1	40	小中学生 60			1	40
免 税 団 体 100人以上 50%	大 人 60			大 人 90				
	小中学生 30	2	60	小中学生 45			2	60
100%	大 人	994		大 人	167		1,161	
	小中学生	2,955		小中学生	525		3,480	
特別利用券利用者	大 人	40		大 人	10		50	
	小中学生			小中学生				
赤穂観光パスポート	通りゃんせ	68	(@120×164) 19,680	通りゃんせ	12		80	19,680
合 計	大 人	16,396	2,810,100	大 人	2,870	741,420	19,266	3,551,520
	小中学生	7,186	371,800	小中学生	1,825	179,070	9,011	550,870
	計	23,582	3,181,900	計	4,695	920,490	28,277	4,102,390

(赤穂観光パスポートの入館料収入は、常設展にまとめて計上した。)

特別展、企画展等の事業報告

海洋科学館

特別展

期 間 平成30年7月21日(土)～9月2日(日)
 名 称 「ひょうごの活断層と近未来の大地震」
 内 容 近いうちに発生の確率が高いとされる、南海トラフなどが原因の巨大地震に備え、地震のメカニズムなどを知ることにより、減災のきっかけとなることを願って開催した。
 展示内容：断層のはぎとり標本、濃尾大地震ガラス乾板
 関東大地震書画、地震に関する写真パネル等

入館者数 4,695人

探鳥会

開催日時 5月20日(日)9時～12時 参加者14名

科学館の指導普及事業

(1) 運営協力会の開催

委員数 15名
 開催日 第1回 平成30年 5月12日(土)
 第2回 平成30年 7月28日(土)
 第3回 平成30年11月17日(土)
 第4回 平成31年 2月16日(土)

(2) 科学教室の開催

名 称 「子ども科学教室」

内 容

	テ ー マ	開 催 日 時
第1回	とおoryんせ・通りゃんせ	6月 9日(土) 9:00～11:55
第2回	天体観測	8月18日(土) 19:30～21:00
第3回	施設見学「雨滝自然科学館・うたづ海ホテル臨海公園」	9月 1日(土) 8:00～17:00
第4回	身近な自然観察:赤穂海浜公園内	11月17日(土) 9:00～12:00
第5回	顕微鏡で見るミクロの世界	12月 8日(土) 9:00～12:00
第6回	天体観測 Part 2	12月 8日(土) 18:30～20:00
第7回	バードウォッチング	1月19日(土) 9:00～12:00
第8回	ふしぎな空気くん	2月16日(土) 9:00～12:00

指導者 海洋科学館運営協力会委員外

参加者 市内小学4年生～6年生 39名

(3) 夏屋台実験教室の開催

名称 「サイエンス寺子屋」

開催日 8月 5日 (日)

内容

No.	ブース (屋台) 名
1	変形円環型日時計を作ろう
2	古代ローマ人も知っていたピンホー助のひみつ!!
3	メビウスの輪であそぼう
4	ストロー笛とダンシングソルト
5	ミニカイトは飛ぶのカイト
6	関西福祉大学サイエンス部 はしれポンポン船
7	2018 トレジャーハンター・パートIV
8	塩を使ってスーパーボールを作ろう
9	くるくるロケット

スタッフ 海洋科学館運営協力会委員

協力 兵庫県立人と自然の博物館、関西福祉大学生、赤穂高校生外

参加者 小学1年生～6年生児童等 235名

赤穂市立海洋科学館の管理運営に関する業務の収支決算書
(平成30年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
海洋科学館管理収入	16,220,000	15,957,530	262,470	海洋科学館管理収入
施設利用料収入	4,418,000	4,102,390	315,610	施設利用料収入
合 計	20,638,000	20,059,920	578,080	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	11,065,000	10,944,751	120,249	職員給 4人
福利厚生費支出	2,001,000	1,722,123	278,877	社会保険料外
小 計	13,066,000	12,666,874	399,126	
物件費				
旅費交通費支出	25,000	0	25,000	
消耗品費支出	399,703	399,703	0	特別展消耗品外
燃料費支出	62,000	49,748	12,252	ガソリン代
会議費支出	8,000	526	7,474	来客賄
印刷製本費支出	502,000	501,102	898	特別展ポスター印刷外
光熱水費支出	1,977,290	1,954,042	23,248	電気代外
修繕費支出	695,196	695,196	0	空調機修繕外
飼料費支出	42,207	17,223	24,984	展示用魚餌代
通信運搬費支出	181,793	181,793	0	電話料外
保険料支出	64,000	51,180	12,820	自動車損害保険料外
手数料支出	5,000	4,320	680	データ加工代
委託料支出	2,513,000	2,510,810	2,190	清掃管理業務委託 934,040 展示備品管理委託 477,360 建物管理業務委託外 1,099,410
使用料賃借料支出	897,027	897,027	0	複写機使用料外
消耗什器備品費支出	107,784	107,784	0	事務備品
諸謝金支出	68,000	0	68,000	
負担金支出	20,000	20,000	0	県博物館協会負担金外
雑費支出	4,000	2,592	1,408	諸雑費
小 計	7,572,000	7,393,046	178,954	
合 計	20,638,000	20,059,920	578,080	

赤穂市立海洋科学館指定管理者自主事業収支決算書

(平成30年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
図書発行等事業収入	196,000	189,972	6,028	図書頒布収入
科学館指導普及事業収入	140,000	156,000	△ 16,000	子ども科学教室参加負担金
赤穂市補助金収入	770,000	611,159	158,841	科学館指導普及事業補助金
合 計	1,106,000	957,131	142,841	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
図書発行等事業費				
印刷製本費支出	196,000	189,972	6,028	しおたまチラシ・シール印刷
科学館普及啓発事業費				運営協力会事業 177,726 子ども科学教室事業 471,179 夏屋台実験教室 99,837 探鳥会事業 18,417
旅費交通費支出	36,000	32,400	3,600	旅費
消耗品費支出	192,396	192,309	87	教材外
会議費支出	72,164	72,164	0	ボランティア賄外
印刷製本費支出	19,440	19,440	0	子ども科学教室記録写真プリント代
通信運搬費支出	27,000	24,616	2,384	郵便料
保険料支出	29,000	28,610	390	ボランティア保険料外
使用料賃借料支出	279,000	192,620	86,380	子ども科学教室車両借上料
諸謝金支出	255,000	205,000	50,000	講師謝礼外
小 計	910,000	767,159	142,841	
合 計	1,106,000	957,131	148,869	

平成30年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称		赤穂市立海洋科学館					
所在地		赤穂市御崎1891番地4					
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団			指定期間	開始日	平成30年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地				終了日	平成33年3月31日
選定方法		公 募 ・ 非公募			評価実施年	指定期間3年のうち1年目	
施設設置目的		海洋科学に関する知識の普及及び啓発を図り、市民の科学教育の向上に資するため					
主な実施事業		(1) 海洋科学に関する資料、機器及び装置を収集し、展示し、及び利用に供すること。 (2) 海洋科学に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。 (3) 展示する資料、機器及び装置に関する調査研究すること。 (4) 学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (5) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業					

2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	H30	目標	H31	目標	H32
a	入館者数	人	30,000	28,277	30,000		30,000	
b	利用率	%	100	94.3	100		100	
c								
d								
e								

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		平成30年度決算	平成31年度予算	平成32年度予算	
収入計		A	21,017,051	21,802,000	21,953,000
指定管理料			15,957,530	16,220,000	16,220,000
利用料収入		C	4,102,390	4,672,000	4,823,000
自主事業収入			957,131	910,000	910,000
その他			0	0	0
支出計		B	21,017,051	21,802,000	21,953,000
事業費			20,059,920	20,892,000	21,043,000
内、人件費		D	12,666,874	13,277,000	12,966,000
内、再委託料		E	2,510,810	2,801,000	2,773,000
自主事業費			957,131	910,000	910,000
事業収入		A-B	0	0	0
利用料比率		C/A	19.52 %	21.43 %	21.97 %
人件費率		D/B	60.27 %	60.90 %	59.06 %
再委託費比率		E/B	11.95 %	12.85 %	12.63 %
・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。					
補足説明					

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に則し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		事業計画に則し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令順守	法令・条例等に基づき、必要な点検・報告を行っている。	B	B
	外部委託	外部委託に際し、適切に業者を選定し、業務指導を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する条例を順守し事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	【業務の実施体制】に関する評価】	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に則し、必須事業を実施している。	B	A
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	A
	維持管理	管理運営基準等に従い、施設の維持管理を適切に行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。		B	B	
事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	各種提案事項について、市と協議し、検討を行っている。	B	A	
利用状況	利用者数等は、目標に対し妥当な水準である。	B	B	
総括	【業務の内容・水準】に関する評価】	B	B	
③ 安定性	経理事務	適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	B	B

<p>所見 (成果、課題等)</p>	<p>【自己評価】 設置目的等に照らし、概ね利用者からの要求水準を満たしており、適切に管理されている。</p>		
	<p>【所管評価】 平成30年度は、NHKドラマの制作や映画撮影等、例年になく多様な対応を要求されたが、適切に対応し、館のイメージアップに貢献した。また、館独自のアイデアを積極的に試し、かん水を利用した「しおたま」製作に結実したほか、館内のディスプレイを改善するなど、来館者の満足度向上に寄与した。 運営協力会とも協力し、自然観察や科学実験等、文教施設として児童に対する学習活動へのアプローチを継続的に実施していることも評価できる。 引き続き、新たな発想に基づく新規事業に積極的に取り組むとともに、館の魅力を効果的に宣伝するPR方法についても検討されたい。</p>		
前年評価	—	総合評価	B

※評価基準

A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。